# ＩＴを使用した情報活用能力の育成

下関市立垢田中学校

## １．学校紹介

所在地：〒751-0846　下関市大字垢田字笹原１１２７番地の６

生徒数：全校生徒４６１名

教員数：２６名

学級数：１・２年生は５クラス、３年生は４クラス

## ２．研究のねらい

ねらいを次の３点に置いた。

１．生徒の情報活用能力の育成

２．生徒の興味・関心を高める授業の実現

３．「自ら学ぶ力」の育成や個に応じた教育の実現

## ３．研究の経緯

１，２年次　インターネットの利用（情報の収集と活用）

全員がインターネットを容易に使用できるようになる。

自分が必要としている情報を手に入れることができる。

３年次　情報の活用

自分の考えをプレゼンテーションを用いて発信する。

## ４．研究の内容

| 月 | 主な学校行事 | 研究内容 |
|---|---|---|
| ４ | 入学式・対面式 | プロジェクタで大画面に投影し新入生に学校紹介 |
| ５ | 修学旅行(3年) | デジタルカメラ・デジタルビデオカメラ(DVカメラ)に活動の様子を記録 |
| | 宿泊研修(2年) | |
| ６ | 校外学習(1年) | |
| ８ | 職場体験学習(2年) | インターネットによる資料集め |
| | 友好訪問 | 青島市からの訪問団に学校紹介 |

| | | |
|---|---|---|
| 9 | 体育祭 | |
| 10 | 文化祭 | １学期の「総合的な学習の時間」の活動報告<br>3年：平和学習の発表<br>1,2年：校外学習の発表<br>　コンピュータを利用し、動画・静止画像データの編集しプレゼンテーションを行う<br>2年：職場体験学習の報告会 |
| 12 | 学年集会 | |
| 3 | 3年生を送る会<br>卒業式 | 卒業生の３年間の軌跡をプロジェクタに投影 |

**５．研究の評価・課題**

　インターネットを行う家庭も増え､コンピュータに抵抗を持つ生徒も少なくなってきた。たくさんの情報がある中で、自分が必要とする情報をどう見つけだすか、見つけだした情報をどう活用していくか重要になるであろう。生徒たちも回数を重ねる事でいろいろな手段を自ら発見するようになり、短時間で情報を収集することもできるようになってきた。また、情報をどのようにみんなに伝えていくか、という面ではずいぶん苦労した。文化祭のプレゼンも生徒たちはずいぶん頭を抱えていた。情報をどのように利用していくかはこれからの課題になるだろう。また、著作権などの情報モラルについてはまだまだ指導していく必要があると思われる。

**６．研究の成果物の内容と普及方法**

文化祭のプレゼンテーションのデータ
青島市の友好訪問の学校紹介のデータ　など

**７．まとめ**

　インターネットの使用で情報を簡単に収集することができ活用しやすくなった。また、プロジェクターの使用により学年の一斉授業など容易になり、いろいろな角度から生徒たちに情報を発信することができるようになった。しかし、テレビ会議システムなど機器を十分に活用できなかったのは残念であった。